

【2026 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科】

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
ソーシャルワーク実習指導B		選択	2	4	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
田村 正人	B308	masato.tamura	水曜日 12:10~13:00		
授業の目的・概要	<p><目的>精神疾患や精神障害のある人のおかれている現状とその生活の実態や生活上の困難について基本的な理解を図るとともに、精神保健福祉士が行うソーシャルワークに係る知識と技術、精神保健福祉士として求められる資質、技能、倫理について基本的な理解を図ることを目的とする。</p> <p><概要>精神保健医療福祉の現状（利用者理解を含む。）と施設・機関・事業者・団体・地域社会等に関する基本的な理解、精神保健福祉士としてのソーシャルワークに係る専門的知識と技術、精神保健福祉士に求められる職業倫理と法的責務、プライバシー保護と守秘義務の理解、さらに実習記録への記録内容及び記録方法、実習計画の作成方法について学ぶ。また、実習中に巡回指導を受ける。</p>				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・デベート <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	精神保健福祉士国家試験科目と考え方の基盤が重複するため、関連付けて復習しておくことが望ましい。				
教科書	最新 精神保健福祉士養成講座 8 ソーシャルワーク実習指導・ソーシャルワーク実習[精神専門]/編：一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟/中央法規出版				
参考書	必要に応じて資料を配布する。				
外部教材	特になし。				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	精神保健医療福祉の現状に関する基本を理解し説明できる。			HC(1)~(3)	
②	実習を行う施設・機関・事業者・団体・地域社会等の基本を理解し説明できる。			HC(5)	
③	実習で必要とされる精神保健福祉士としてのソーシャルワークに係る専門的知識と技術について理解し説明できる。			HC(2)、(5)、(6)	
④	精神保健福祉士に求められる職業倫理と法的責務、実習における個人のプライバシー保護と守秘義務について理解し説明できる。			HC(1)~(4)	
⑤	実習記録への記録内容及び記録方法を理解し説明できる。			HC(4)~(6)	
⑥	他者との協議を踏まえた実習計画の作成を理解し説明できる。			HC(4)~(6)	
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間（時間）		
1	授業の進め方、評価方法、学習方法について理解する。実習及び実習指導の意義について学ぶ。	講義・ ディスカッション	内容の振り返りを行う。		5
2	精神保健医療福祉の現状に関する基本について理解を深める。	講義・ ディスカッション	内容の振り返りを行う。		4
3	実習を行う施設・機関・事業者・団体・地域社会等の基本について理解を深める。	グループワーク	内容の振り返りを行う。		4
4	実習で必要とされる精神保健福祉士としてのソーシャルワークに係る専門的知識と技術について理解を深める。	講義・ ディスカッション	内容の振り返りを行う。		4
5	精神保健福祉士に求められる職業倫理と法的責務、実習における個人のプライバシー保護と守秘義務について学ぶ。	講義・ ディスカッション	内容の振り返りを行う。		4
6	実習記録への記録内容及び記録方法について学ぶ。	グループワーク	内容の振り返りを行う。		5
7	実習生、実習担当教員、実習先の実習指導者との三者協議を踏まえた実習計画を作成する①。	指導・演習	計画書の作成と発表準備を行う。		6
8	実習生、実習担当教員、実習先の実習指導者との三者協議を踏まえた実習計画を作成する②。	指導・演習	計画書の作成と発表準備を行う。		6
9	実習生、実習担当教員、実習先の実習指導者との三者協議を踏まえた実習計画を作成する③。	指導・演習	計画書の作成と発表準備を行う。		6
10	実習生、実習担当教員、実習先の実習指導者との三者協議を踏まえた実習計画を作成する④。	指導・演習	計画書の作成と発表準備を行う。		6
11	実習生、実習担当教員、実習先の実習指導者との三者協議を踏まえた実習計画を作成する⑤。	プレゼンテーション	発表から得た学びを整理する。		6
12	実習生、実習担当教員、実習先の実習指導者との三者協議を踏まえた実習計画を作成する⑥。	指導	計画書の作成と発表準備を行う。		1
13	実習生、実習担当教員、実習先の実習指導者との三者協議を踏まえた実習計画を作成する⑦。	指導	計画書の作成と発表準備を行う。		1
14	巡回指導を受ける①	指導	巡回指導の内容を整理する。		1

【2026 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科】

15	巡回指導を受ける②	指導	巡回指導の内容を整理する。	1
試				

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		0	40	20	0	40	100
総合力指標	知識・技術力	0	0	0	0	0	0
	思考・推論・創造する力	0	20	5	0	0	25
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	20	20
	発表・表現伝達する力	0	10	15	0	0	25
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	20	20
	問題を発見・解決する力	0	10	0	0	0	10

評価のポイント			評価の実施方法と注意点	フィードバックの方法
評価方法	行動目標			
試験	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
レポート	①	✓	実習計画書の作成に関する達成度等によって評価する。	個別にフィードバックする。
	②	✓		
	③	✓		
	④	✓		
	⑤			
	⑥	✓		
成果発表	①	✓	作成した実習計画を担当教員や実習指導者に発表する。発表内容や聞き手を意識した発表ができているかを評価する。	講義内で適宜フィードバックする。
	②	✓		
	③	✓		
	④	✓		
	⑤			
	⑥	✓		
ポートフォリオ	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
その他	①	✓	実習に向けた心構えや授業・課題に対する取り組み状況、参加状況を総合的に評価する。	個別にフィードバックする。
	②	✓		
	③	✓		
	④	✓		
	⑤	✓		
	⑥	✓		

備 考

他 担 当 教 員	なし
教員の実務経験	社会福祉士の資格を有し、13年の実務経験がある。
実践的授業の内容	教員自身の対人援助職の実務経験にもとづき、対人援助職として必要な価値・知識・技術を教授する。
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> ・精神保健福祉士資格取得希望者は必ず履修すること。 ・止むを得ず遅刻・欠席する場合は、しかるべき手順を踏んで対応すること。 ・上記、指示に従わない行動をとった場合には受講を認めないことがある。